



2026.10.28

アストンマーティン ジャパン

アストンマーティン Valhalla Spider 究極のオープントップ・スーパーカー

- Valhalla Coupe の純粋なデザインと圧倒的なパフォーマンスを継承し、ルーフの装着・非装着を問わず最高速度 350km/h を達成可能
- 改良されたアクティブ・エアロダイナミクスと ESP のキャリブレーションにより、600kg を超えるダウンフォースを確保するとともに、公道走行性能とサーキット走行性能のクラストップレベルのバランスを実現
- 最高出力 1,079PS、最大トルク 1,100Nm の PHEV パワートレイン：専用設計のフラットプレーンクランク式 4.0 リッターV8 ツインターボエンジン（828PS）と、合計 215PS を発生する 3 基の電気モーターを組み合わせた構成
- 2027 年第 2 四半期より順次納車開始



2026 年 10 月 28 日、ゲイドン（英国）：今年初めに発表したミッドシップ・ハイブリッドモデル「Valhalla Coupe」で高い評価を受け、成功を収めたアストンマーティンは、このたび新型「Valhalla Spider」を発表します。オープンエア・ドライビングの究極の姿を体現する、アストンマーティン史上最速のオープンコックピットモデルです。

アストンマーティン初のミッドシップ・オープンコックピットのスーパーカーである **Valhalla Spider** の使命は明確です。公道でもサーキットでも卓越したパフォーマンスを自在に引き出せる操作性と、ドライバーが車との一体感を味わえる、クラストップレベルの幅広い走行性能を維持しながら、走りを楽しむ機会をさらに広げることです。

アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ 1®チームのコンサルティング部門であるアストンマーティン・パフォーマンス・テクノロジーズ (AMPT) との緊密な連携を継続し、車両ダイナミクス、エアロダイナミクス、素材に関する専門知識と技術を **Valhalla Spider** の設計・開発にさらに取り入れました。これにより、アストンマーティンはスーパーカーのエンジニアリングとパフォーマンスの限界を、オープントップモデルにおいても押し広げています。

Valhalla Spider には、**Valhalla Coupe** のすっきりとした流麗なボディラインを維持しながら、あらゆる走行シーンに対応できるよう設計された、包括的なルーフシステムが採用されています。取り外して収納できるブラックのファブリックルーフを標準装備*して天候の急変時にも十分に対応できるため、安心してオープンエア・ドライビングを楽しむことができます。ファブリックルーフを装着した状態でも、クラストップレベルとなる最高速度 **200km/h** での走行が可能です。オプションのカーボンファイバー製ハードトップを選択すれば、ルーフを装着した状態でも、**Valhalla Spider** の電子制御による上限速度である **350km/h** まで制約なく走行することができます。停車状態で使用するためのレインカバーも付属しています。

スリルあふれる走りを目指す **Valhalla Spider** は、ルーフを取り外した状態でも最高速度に到達することができます。これにより、**Valhalla Spider** はアストンマーティン史上最速のオープンコックピットモデルとなります。

Valhalla Spider には、ルーフを取り外した状態でも最高のパフォーマンスを維持しながら、乗員の快適性を最大限に高める独自のウィンドディフレクターが採用されています。オープンコックピット上部の気流を制御するこのシンプルかつ効果的な装置は、ルーフパネルを取り外した際に、クリップで素早く所定の位置に固定できます。独自の設計により、フロントガラス上端からの気流を制御し、冷却用の空気をシュノーケルへと引き込む一方、乗員の上方へと空気を流すことで快適性を高めています。シュノーケルも、このオープントップモデルに合わせて最適化されています。**Valhalla Spider** 専用に形状を変更し、**35mm** 高く配置されています。ルーフを装着した状態では、ウィンドディフレクターを **3** つ折りにし、新たに設けられた容量 **15** リットルのサイドシル内の収納スペースに収めることができます。改良されたアクティブ・エアロダイナミクスと **ESP** のキャリブレーションにより、ルーフの装着・非装着による気流の変化を検知して適応し、車両のバランスと安定性を保ちながらドライバーに変わらぬ安心感をもたらします。

Valhalla Spider には、新たなカーボンファイバー製ツーリングシートが標準装備され、ルーフを装着した状態でも乗員の快適性を高め、乗り降りを容易にしています。ただし、よりダイナミックな走行に適したサポート性を求める場合は、**Valhalla Coupe** と同じカーボンファイバー製シートを無償選択することもできます。

Valhalla Spider には、**Valhalla Coupe** と同じ最高出力 1,079PS、最大トルク 1,100Nm のプラグインハイブリッド・パワートレインが搭載されています。その中核を担うのが、最高出力 828PS を発生する 4.0 リッターV8 ツインターボエンジンです。**Valhalla** 独自のこのエンジンは、1 リッターあたり 210PS という、アストンマーティンの内燃エンジン史上最高の比出力を誇ります。さらに、3 基の電気モーターと高性能バッテリー（HPB）により、215PS の出力が追加されます。

2 基の電気モーターがフロントの **e**-アクスルを駆動し、フル電動トルクベクタリング（**E-TV**）によって俊敏性と安定性の両方を高めています。8 速 **DCT** トランスミッションと一体化した 3 基目の電気モーターは、**V8** エンジンを補助してリアアクスルと電子制御ディファレンシャル（**e-diff**）を駆動します。フロントアクスルとリアアクスルは機械的に連結されておらず、各ホイールへの駆動力配分はアストンマーティンの先進的な統合車両ダイナミクス制御（**IVC**）システムによって常に管理されています。統合車両ダイナミクス制御（**IVC**）の電子制御システムは、サスペンション、ブレーキ、ステアリング、アクティブ・エアロダイナミクス、パワートレインの各システムを監視し、あらゆる状況で最適なパフォーマンスとドライバーとの一体感を実現します。**IVC** は、ドライバーが選択できる **Valhalla** の 4 つのドライブモードと連携し、車両の挙動とドライバーの要求を監視することで、**Valhalla Spider** のダイナミックな走行特性を絶えず調整しています。精密なキャリブレーションによって、この極めて複雑かつ高度なシステムは、自然で一体感のあるドライビング体験を実現します。

Valhalla Spider にも、**Valhalla Coupe** で初採用されたものと同じ、先進的かつ包括的な車両全体のアクティブ・エアロダイナミクスが搭載されています。**Valhalla Spider** は、可動式の空力面とアンダーボディの気流の精密な制御を組み合わせています。走行状況や選択したドライブモードに応じて前後のダウンフォースを常に調整し、グリップ力、ハンドリングバランス、レスポンスの一貫性を最大限に高めるほか、空気抵抗を低減することで最適な空力効率を実現します。**Valhalla** は、フロントとリアの両方にアクティブ・エアロダイナミクス機構を備えることで、前後アクスル間のダウンフォース配分を高精度に制御できます。これは車両の安定性とパフォーマンスを確保するうえで極めて重要です。

こうした共通のハードウェアとソフトウェアを基盤としているため、**Valhalla Spider** と **Valhalla Coupe** の技術的な違いは、アクティブ・エアロダイナミクスの変更と電子安定性制御（**ESC**）のキャリブレーションの調整に限られます。いずれもルーフを取り外した状態と装着

した状態の両方において、一貫した空力性能と車両の動的挙動を維持できるよう精密に調整されています。ルーフ装着時の最大ダウンフォースは **600kg** を超えます。

Valhalla Spider の中核をなすのは、**Valhalla Coupe** に採用された専用設計のカーボンファイバー製タブをベースとした構造です。**Valhalla** の車体構造は、モータースポーツの最高峰である **F1®** で培った高度な専門知識と技術力を、モータースポーツの枠を超えて応用する **AMPT** によって設計・開発されたもので、最先端の複合材料技術の結晶です。

Valhalla のカーボン構造体は、アストンマーティンのために開発された独自技術を用いて製作されています。この構造体の上部と下部は、樹脂トランスファー成形（**RTM**）プロセスと **F1®** 由来のオートクレーブ技術を組み合わせ、カーボンファイバーを用いて成形されています。その結果、極めて高い剛性と強度を備えながら軽量性も兼ね備えた、唯一無二の乗員セルが実現しました。ドライバーと同乗者のエルゴノミクスを損なうことなく、優れた動的構造特性と安全性を実現しています。

オープンエア・ドライビングの魅力をさらに高めるため、**Valhalla Spider** は、特徴的なカーボンファイバー製ディヘドラルドアを継承し、ドラマチックな演出を維持しています。さらに、開閉動作をより滑らかにするために機構を改良し、フレームレスデザインを採用しました。ドアガラス上端の曲率をわずかに大きくすることで、ルーフを装着した状態でも乗り降りがしやすくなります。

アストンマーティンの **CEO**、エイドリアン・ホールマークは、**Valhalla Spider** について次のように述べています。「**Valhalla Coupe** は、数々の新たな領域を切り拓きました。当社初の量産型ミッドシップ・スーパーカー。当社初のプラグインハイブリッド車。当社専用設計のフラットプレーンクランク **V8** エンジンを初めて搭載し、新開発の **8** 速デュアルクラッチトランスミッション（**DCT**）を初めて採用したモデルです。さらに、新たなデザイン言語を切り拓くとともに、公道での優れた走行フィールとドライバーとの一体感を、サーキットでの卓越した走行性能と独自の形で融合させました」

「**Valhalla Spider** は、**Valhalla Coupe** の美しさと幅広い走行性能を受け継ぎ、今述べた数々の画期的な『初』の成果を踏まえて、さらなる進化を遂げています。同時に、オープンコックピットのスーパーカーならではの走る楽しさや、ドライバーが車との一体感を味わえる機会をさらに広げています。」高速走行でも低速走行でも。雨の日でも晴れの日でも。ルーフを装着した状態でも取り外した状態でも。公道でもサーキットでも。**Valhalla Spider** は、すべてに応えます」

Valhalla Spider は、今週末に開催される「**2026 コンクール・アット・ウィン・ラスベガス**」で世界初公開されます。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-Lu508ctoNP6d1bnN>

<https://youtu.be/4xa2HkGjP5k>

※米国ではカーボンファイバー製ハードトップが標準装備となります

アストンマーティン・ラゴンダについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・プリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、Vanquish、DBXに加え、同社初のミッドエンジン・ハイブリッド・カーであるValhallaなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、Racing. Green.サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは「ブレンドドライブレインアプローチ」による内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つというプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴンダは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。

ラゴンダは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

astonmartin-pr@pibc.co.jp